

豊洲市場について

豊洲市場は、築地市場の移転により開場いたします。継続的に中央卸売市場として運営していくとともに、日本の中核市場として育ててまいります。

千客万来施設事業を進めていくとともに、市場業者の方や地元の皆様と連携して、豊洲地区の賑わいを創出していきます。

▶ 豊洲市場の概要

区分	豊洲市場（概算値）
敷地面積	407,000㎡
延床面積	517,000㎡
卸売業者売場	35,700㎡
水産関係	24,700㎡
青果関係	11,000㎡
仲卸業者売場	16,745㎡
水産関係	13,019㎡
青果関係	3,726㎡



平成30年10月11日開場



豊洲市場の開場に向けて

このパンフレットの内容についてのお問い合わせ

東京都中央卸売市場 管理部 総務課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL.03-5320-5720

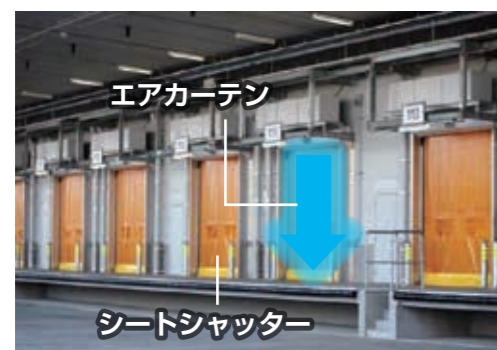
豊洲市場に関する資料の入手先

東京都中央卸売市場ホームページ
<http://www.shijou.metro.tokyo.jp/>

豊洲市場は食の安全・安心や効率的な物流、環境対策などの新たな機能に加え、地域の活気やにぎわい創出にも寄与する魅力ある中核市場です。

食の安全・安心を確保します。

- 商品特性にあったエリアごとの適温管理ができる施設（＝閉鎖型施設）であり、高温や風雨の影響から商品を守り、鮮度を保つことができます。
- 通常のシャッターに加え、シートシャッターやエアカーテンを整備して、外気や虫・ホコリの流入を抑制するとともに、施設内の保冷効果を高めています。
- 水産の卸売場や仲卸売場に入る際に、手洗い・手指消毒・靴底消毒を行う入場管理室を設置しています。



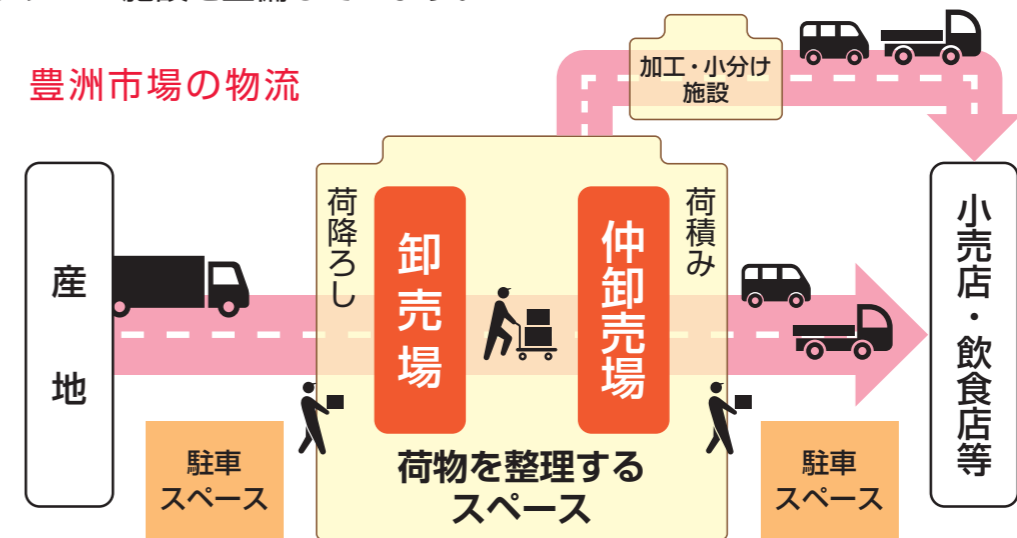
トラックバース



入場管理室

効率的な物流の実現や新たなニーズに対応します。

- 卸売場や仲卸売場の近くに駐車スペース、荷捌きスペースを配置することにより、効率的に作業を行うことができ、円滑な物流を実現します。
- 専門小売店、食品スーパー等から求められる加工・小分け・包装等ができる加工パッケージ施設を整備しています。



省エネに取り組み、環境に配慮しています。

- 都内最大級の太陽光発電などの自然エネルギーを活用するとともに、外気冷房システムの導入やLED照明などの省エネ機器の採用に加え、緑化も行っています。



太陽光発電
(一般家庭の年間580世帯分の発電能力)



屋上緑化

地域と連携し、活気とにぎわいを創出していきます。

- 千客万来施設事業を進めるとともに、豊洲地区の外周を囲む豊洲ぐるり公園と一体的に屋上緑化広場を開放するなど、地域のにぎわい創出に向けて取り組んでいきます。



屋上緑化広場



豊洲ぐるり公園

豊洲市場の概要

豊洲市場は、取り扱う生鮮食品や市場での役割に応じて、3つの街区により構成されています。

水産物を取り扱う6街区（水産仲卸売場）と7街区（水産卸売場）は、都道補助315号線の高架下にある連絡通路でつながっており、一体的に利用することができます。

また、5街区（青果棟）と7街区（水産卸売場棟）の間には、環状2号線のアンダーパスがあり、敷地内を自動車で行くことができます。

6街区

主に水産仲卸売場棟、加工パッケージ棟、冷蔵庫棟などが整備されています。水産仲卸売場は、多くの仲卸店舗が並んでおり、魚屋さんやお寿司屋さんなどの小売業者の方々に対応します。

水産仲卸売場棟



外観

冷蔵庫棟



水産仲卸売場

4階北側パーズ

加工パッケージ棟

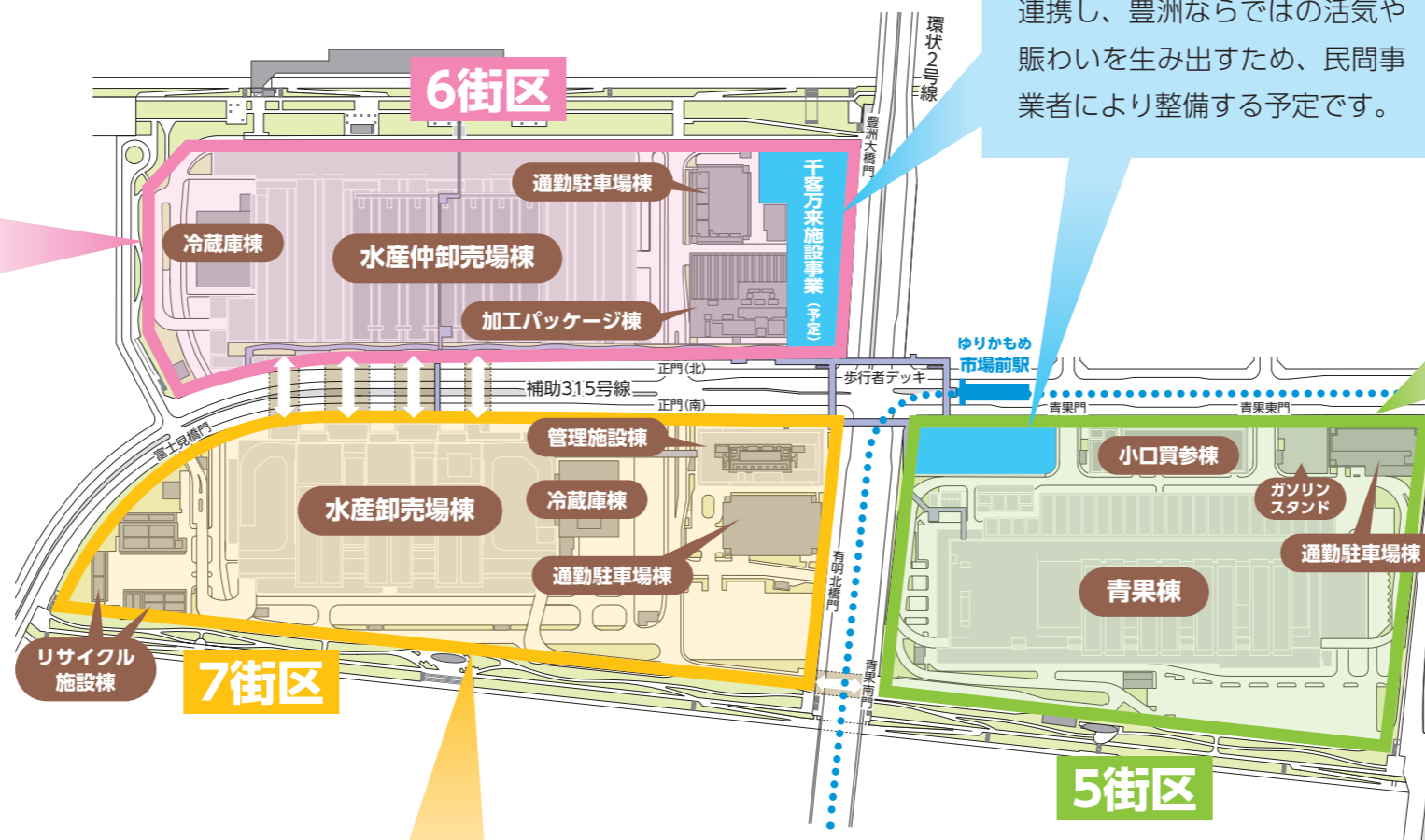
加工・小分け・包装等といった様々なニーズに対応するための施設です。



外観

加工場

※ 市場利用者のために、海苔・乾物などの関連食品をはじめ、包丁・鍋といった調理道具、買出しに使うカゴ・長靴などの用品を販売する店舗や飲食店、事務室等が各街区に整備されています。



千客万来施設事業

築地特有の賑わいを継承・発展させるとともに、市場本体と連携し、豊洲ならではの活気や賑わいを生み出すため、民間事業者により整備する予定です。

5街区

主に青果棟、小口買参棟などが整備され、野菜や果実などの青果物や漬物、鳥卵が取り扱われます。青果棟には、国内外の品物を集めて取引を行う卸売場と、飲食店やまちの八百屋さんなどが仕入れに来る仲卸売場とともに、青果棟内に自動立体低温倉庫や加工パッケージ施設を設けています。

青果棟



卸売場

仲卸売場

南側パーズ

見学者コース

外観

商品開発・PR施設

7街区

主に水産卸売場棟、管理施設棟、冷蔵庫棟などが整備されています。水産卸売場棟では、国内外の水産物が集まり、セリ・相対取引などにより、仲卸業者や売買参加者に販売されます。見学者用デッキからマグロのセリを間近で見ることができます。

さらに、水産卸売場棟の4階には、首都圏の流通機能の拠点として他市場へ転配送できる施設を整備しています。

水産卸売場棟



外観

ドックシェルター

共同加工場

セリ見学台

見学者コース

冷蔵庫棟

管理施設棟

東京都の事務室のほか、市場衛生検査所が設置されています。



講堂

外観

豊洲市場の開場に向けた取組

豊洲市場の安全性をさらに高めるための取組



- 豊洲市場用地が法的・科学的に安全であることは、専門家会議でも確認されています。
- その上で専門家会議は、将来のリスクに備えた以下の対策を提言しました（平成29年6月）。

- ①地下ピットにおける対策（換気と床面のコンクリートの打設）により、将来、建物一階部分の床にひび割れ等が生じたとしても、一階への水銀等の侵入リスクの低減を図ること
- ②地下水管理システムの機能強化により、早期に地下水位を適切に管理するとともに、中長期的に汚染の改善を図ること

- さらなる安全・安心の確保に向けて、この提言に基づく追加対策工事（各街区の地下ピット換気工事、地下ピット床面工事、地下水管理システム機能強化工事）を着実に講じることで、地上の安全に万全を期してまいります。

地下水管理システム

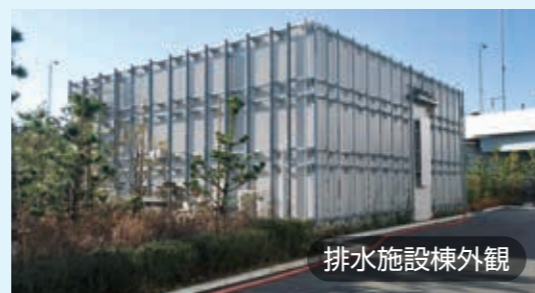
豊洲市場では、地下水を適切に管理するためのシステムが稼働しています。

汲み上げた地下水は、下水道に流せる水質基準を満たしているかどうかを確認し、基準を満たしていなければ、水処理を行った上で下水道へ放流しています。

※地下水は飲用にも市場事業にも利用することは予定されておりません。



排水施設棟内部



排水施設棟外観

豊洲市場をより知って頂くための取組



多くの方々に豊洲市場を観ていただく見学会を毎月実施するとともに、追加対策工事の内容や空気・地下水の水質測定データの正確な情報発信などの取組を進め、都民や事業者の方々の安心確保と信頼回復につなげてまいります。

豊洲市場見学会の様子



まぐる（模型）[水産卸売場棟]



水産仲卸店舗 [水産仲卸売場棟]



見学者通路 [青果棟]

その他の取組



屋上緑化広場一日開放イベント



東京いちばステーション（築地市場）



豊洲市場PRコーナー（江東湾岸まつり2017）